製品安全データシート

作成: 2011 年 11 月 30 日
改訂:　　年　月　日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	エルシステム･TP･LB［発色液･A，発色液･B］
会社名	シスメックス株式会社
所在地	〒651-0073　神戸市中央区脇浜海岸通１丁目５番１号
連絡先	シスメックス株式会社　テクノパーク 〒651-2271　神戸市西区高塚台４丁目４番地の４ TEL：(078) 991－1911（代表） FAX：(078) 991－1917

［発色液・A］

2. 危険有害性の要約

GHS 分類の記載

物理化学的危険性	該当しない
健康に関する有害性	該当しない
急性毒性	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分 1
眼に対する損傷性/眼刺激性	区分 1
環境に対する有害性	該当しない

GHS ラベル要素

GHS 絵表示

喚起語	危険
危険有害性情報	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 重篤な眼の損傷
注意書き	
安全対策	粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
応急措置	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 皮膚または髪に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 直ちに医師に連絡すること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
保管	施錠して保管すること。
廃棄	内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
GHS 分類に該当しない危険有害性	なし

3.組成・成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物
化学的特性に関する情報	水溶液
危険有害成分	
化学名又は一般名 濃度（範囲）	水酸化ナトリウム（2.25%）[発色液 A]
化学式	NaOH
CAS 番号	1310-73-2
労働安全衛生法政令番号	情報なし
PRTR 法政令番号	情報なし

4.応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護	特に必要ない

5.火災時の措置

消火剤	水、粉末、泡、炭酸ガス

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	水拭き後、消毒用アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウム液等で拭きとる。人体への措置は特に必要ない。
環境に対する注意事項	情報なし
封込め及び浄化の方法・機材	情報なし

7.取扱い及び保管上の注意

取扱	
技術的対策	正しく測定するために添付文書をお読みください。
安全取扱い注意事項	情報なし
保管	
適切な保管条件	冷所(2～8℃)に密栓して保管する。
容器包装材料	情報なし

8.曝露防止及び保護措置

管理濃度	情報なし
許容濃度	情報なし
日本産業衛生学会	
ＡＣＧＩＨ	
設備対策	特に必要ない
保護具	
呼吸の保護具	特に必要ない
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣など

9.物理的及び化学的性質

物理的性状、形状、色など	無色澄明
臭い	なし
ｐＨ	約pH13
引火点	情報なし
比重（相対密度）	情報なし
溶解度	情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の取扱いで安定。試薬としての安定性は添付文書をお読みください。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発癌性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回曝露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復曝露）	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性／分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	発色液・A の pH は約 13 です。廃液は水質汚濁防止法〔都道府県条例による上乗せ排水基準（法第３条第３項)〕等関連法規に従って処理して下さい。
汚染容器及び包装	行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。

[発色液・B]

2. 危険有害性の要約

GHS 分類の記載

物理化学的危険性	該当しない
健康に関する有害性	該当しない
急性毒性	区分外
皮膚感作性	区分 1
環境に対する有害性	該当しない
水生環境急性有害性	区分 3

GHS ラベル要素

GHS 絵表示

喚起語	警告
危険有害性情報	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 水生生物に有害
注意書き	
安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 適切な保護手袋を着用すること。 適切な保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 適切な個人用保護具を使用すること。 環境への放出を避けること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 粉じん、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
応急措置	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚に付着した場合：汚染された衣類を脱ぐこと。 皮膚に付着した場合、皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。 取り扱った後、手を洗うこと。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 漏出物は回収すること。
保管	施錠して保管すること。
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 環境への放出を避けること。
GHS 分類に該当しない危険有害性	なし

3.組成・成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物
化学的特性に関する情報	水溶液
危険有害成分	毒物取扱法、PRTR 法及び労働安全衛生法の対象物質は含んでいませんが、本品には下記化合物が含まれています。成分内容はキット中の添付文書をご覧ください。
化学名又は一般名 濃度（範囲）	硫酸銅(Ⅱ)・五水和物 (0.75%) [発色液・B]
化学式	$CuSO_4 \cdot 5H_2O$
CAS 番号	7758-99-8
労働安全衛生法政令番号	情報なし
PRTR 法政令番号	情報なし

4.応急措置

吸入した場合	必要なら医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	接触部位を水と石鹸でよく洗う。かゆみ、炎症等の症状が出た場合は速やかに医師の診断を受ける。
目に入った場合	清浄な流水で十分洗眼し、必要なら医師の診断を受ける。
飲込んだ場合	水でよく口中を洗浄し、必要なら医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護	特に必要ない

5.火災時の措置

消火剤	水、粉末、泡、炭酸ガス

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	水拭き後、消毒用アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウム液等で拭きとる。人体への措置は特に必要ない。
環境に対する注意事項	情報なし
封込め及び浄化の方法・機材	情報なし

7.取扱い及び保管上の注意

取扱	
技術的対策	正しく測定するために添付文書をお読みください。
安全取扱い注意事項	情報なし
保管	
適切な保管条件	冷所(2～8℃)に密栓して保管する。
容器包装材料	情報なし

8.曝露防止及び保護措置

管理濃度	情報なし
許容濃度	情報なし
日本産業衛生学会 ＡＣＧＩＨ	
設備対策	特に必要ない
保護具	
呼吸の保護具	特に必要ない
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣など

9.物理的及び化学的性質

物理的性状、形状、色など	青色澄明
臭い	なし
ｐＨ	情報なし
引火点	情報なし
比重（相対密度）	情報なし
溶解度	情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の取扱いで安定。試薬としての安定性は添付文書をお読みください。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：データなし 皮膚感作性：日本産業衛生学会で、銅またはその化合物として「第 2 群」に分類されており、また、日本職業・環境アレルギー学会特設委員会（2004）では銅を皮膚感作性化学物質として分類している
生殖細胞変異原性	情報なし
発癌性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回曝露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復曝露）	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	硫酸銅として、甲殻類（ネコゼミジンコ属）の 48 時間 LC50=0.00272mg/L（ECETOC TR91、2003）
残留性／分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	発色液・B は硫酸銅(Ⅱ)・五水和物を含有しています。廃液は水質汚濁防止法〔都道府県条例による上乗せ排水基準（法第３条第３項)〕等関連法規に従って処理して下さい。
汚染容器及び包装	行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。

[発色液 A・B 共通]

14. 輸送上の注意

国際規則	
国際航空機輸送協会危険物規則	輸送危険物に該当しない
国際海上危険物規則	輸送危険物に該当しない
国内規制	
陸上「鉄道／道路」	輸送危険物に該当しない
内陸水路	輸送危険物に該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件	容器、包装に漏れのないことを確認し、転倒、落下損傷のないように積載し、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

適用される法規制	薬事法（体外診断用医薬品） 水質汚濁防止法

16. その他の情報

一般的注意	ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。
略記	PRTR 法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律